

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 23 日作成)

小委員会名	雪荷重小委員会	主 査 名：苦米地 司 就任年月：2006 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (荷重運営委員会)	委員長名：和田 章 主 査 名：神田 順
設 置 期 間	2005 年 4 月 ~ 2009 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・現行「建築物荷重指針・同解説」の「雪荷重」について解説文の改訂作業を行う。 ・建築基準法の改正による各行政庁指定の設計用積雪深値の収集および諸外国の設計用積雪荷重評価法の最近動向を調査する。 ・委員会の成果を設計実務者に公開し、雪国の建築設計に反映させるための啓蒙活動を行う。 	
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：あり 幹事：高橋徹(千葉大) 委員：城 攻(北海道大) 桜井修次(北海学園大) 中村勉(岩手大) 三橋博三(東北大) 和泉正哲(清水建設) 岡田恒(建築研究所) 小坂橋裕一(日建設計) 前田博司(福井工大) 三橋博巳(日本大) 小竹達也(大成建設) 中島肇(清水建設) 老川進(清水建設技術研究所)	
設置 WG (WG 名：目的)	建築設計における雪問題WG：雪荷重に間接的に関わる冠雪や着雪などは、建物倒壊などのように致命的な現象に至らないものの、毎年発生して仕上げ材や 2 次部材、さらには人身事故に繋がる場合もある。本 WG では、冠雪や着雪などの雪荷重に間接的に関わる現象の発生状況と要因を整理し、その成果を web で公開して設計者の利用を可能とすることを目的としている。	
2008 年度予算	340,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： http://news-sv.aij.or.jp/kouzou/s25/

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1．日本雪工学会で開催した PD『都市・建築空間における雪氷災害のリスクマネジメント』(9月25日開催)に協力をし、設計者に対する啓蒙活動を行った。PD は、各委員から建築に関わる雪害事例を紹介し、雪国の建築設計における留意点を示すことができ、当初の目的が達成できた。
委員会活動の問題点・課題	1．出席メンバーが固定化しているので、新メンバーを勧誘したい。